

令和8年度 旭区 運営方針

I 基本目標

令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標とした、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。
市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら地域の特性に応じた区民の笑顔につながる取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

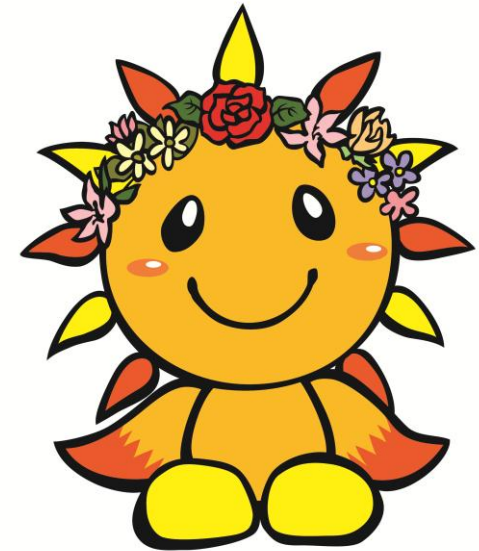
基本目標: もっとつながり、育てる“あさひ”の未来 ～GREEN×EXPO 2027開催地元区として～

○開催まで1年を切ったGREEN×EXPO 2027(横浜グリーンエクスポ)の開催地元区として、機会を捉えて具体的な情報を皆様へお届けするとともに、様々な取組を通して開催機運を高め、認知度・来場意欲の向上を図ります。

また、令和15年度の完成を目指している鶴ヶ峰駅付近の「連続立体交差事業」や、それに合わせた「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり」等、未来に向けたまちづくりも着実に進めていきます。

○誰もが安心を実感して自分らしく暮らせるまちづくりを進めるため、生活の基盤となる安心・安全への取組と、地域での支え合いや顔の見える人と人とのつながりづくりを進めます。

“豊かな自然”と“都市の暮らし”が共存した旭区の魅力をさらに磨き上げ、「もっとつながり、育てる“あさひ”の未来」を目指します。



旭区マスコットキャラクター
あさひくん

令和8年度 旭区 運営方針

Ⅱ 目標達成に向けた施策

◆安心・安全

- 区民一人ひとりと町の防災組織(自治会町内会等)の自助・共助の支援策を推進
- 防犯・交通安全対策の推進による安心・安全なまちづくり
- 次世代を育み、すべての人が安心して住み続けられる身近な地域での見守り・支え合い、つながりづくりの推進

◆暮らし・コミュニティ・地域の力

- 地域で楽しく安心して育ち、子育てができるよう、妊娠期から乳幼児・若者まで個々のニーズに沿った支援や、地域全体でこどもを育み、様々な体験を通じて成長できる環境づくり
- 誰もが多様性を尊重し、困ったときに助けを求めやすく、互いに支え合える地域づくり
- 多様なパートナーとの連携促進や、地域の様々なチャレンジ等への支援・情報発信を通じた地域活力の創出

◆横浜グリーンエクスポを契機とした魅力あるまちづくり

- 開催地元区として横浜グリーンエクスポに向けた参加促進や、サーキュラーエコノミー※へ向けた行動変容につながる取組を推進
- 水・緑・花・農に身近に親しめる環境や文化・歴史的な財産・観光資源を活かした魅力の発信
- 横浜グリーンエクスポを契機とした子育て世代をはじめとする転入・定住促進に向けた魅力づくり

※サーキュラーエコノミー:従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動

令和8年度 旭区 運営方針

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

◆区民に寄り添った対応

- 正確・迅速・丁寧で親しみやすく、満足度の高いサービスの提供や庁舎環境の改善など、区民の視点に立った行政サービスを着実に推進していきます。
- 地区ごとのニーズや各種データを踏まえ、区民の実感につながる施策立案に取り組みます。
- 多様な媒体・機会を通じて、区民の皆様の立場に立った“伝わる”情報発信を目指します。

◆現場主義

- 職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚するとともに、区民の皆様の声に耳を傾け、個別支援、地域支援に取り組みます。
- 地区担当制やタウンミーティング等を通じて、地区の実情や課題を把握・共有し、スピード感をもって地域の皆様とともに解決に向けて取り組みます。

◆チームあさひ

- 長時間労働の改善や風通しの良い職場づくりに取り組み、健康で活気ある職場づくりを目指します。
- 職員の能力と意欲を引き出す人材育成やワークライフバランスの推進により、エンゲージメント向上を図ります。
- リスクマネジメントと内部統制の体制を整え、事件や事故が発生した際は速やかに情報を共有し、組織で対応します。
- 職員一人ひとりが、よりよい行政サービスを提供できるよう、職場の枠を超えた横断的プロジェクトチームを編成し、業務・環境改善等に取り組みます。

<コラム>旭区職員による「あさひ改善プロジェクト」の取組

旭区役所を「より働きやすく、働きがいのある組織」にしていくための取組を進めています。

【令和7年度の取組】

- ①オフィス環境改善プロジェクト…………… 「旭区一斉断捨離」として、物品の要・不要を洗い出し整理を行うことで、執務環境を整備し新たな空間を確保
- ②デジタルを活用した業務改善プロジェクト…………… 生成AI(Copilot Chat)について、初心者向けの講座を開催したほか、コラムを連載
- ③部署の垣根を超えたコミュニケーション改善プロジェクト… 「緑のリサイクルプラント&里山ガーデン見学会」などによる職場間のコミュニケーション向上

1. 安心・安全



地域防災拠点・自治会町内会等による防災訓練等の取組支援やHPのリニューアル等情報発信の強化



防犯対策として、自治会町内会への補助金交付や迷惑電話防止機能付き機器貸与を実施



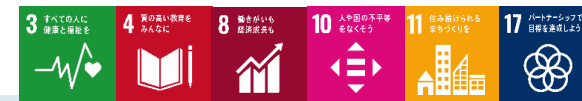
拡 犬の飼い主 マナー啓発と地域防犯見守り活動をするボランティア「旭区わんわんパトロール」の募集・活動支援



拡 福祉避難所の災害対応力向上に向けたコーディネーター派遣や開設・運営に係る説明動画の制作・活用



2. 暮らし・コミュニティ・地域の力



拡 区民ライターが「あさひ魅力発信サイト」で区の魅力を発信！旭区市民活動支援センター「みなくる」とも連携！



地域で支え合い、安心して自分らしく暮らせるまち旭区を目指し、第5期旭区地域福祉保健計画スタート！

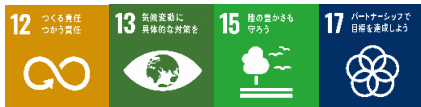


拡 地域で安心して子育てできるよう、相談・交流の場を展開



拡 認知症かどうかに関わらず、支えあえる暮らしを目指し、旭区版新認知症ケアパスガイドを作成





3. 横浜グリーンエクスポ を契機とした魅力あるまちづくり

【拡】開催地元区として横浜グリーンエクスポ機運醸成に向けた取組を推進（「旭オープンガーデン」の開催、街中での横浜グリーンエクスポ装飾など）

園児・保護者・地域の皆さんと連携した花・緑の空間づくりや団体への花苗配布、小・中学校などでの緑のカーテン創出による脱炭素化の推進



毎月1回、区役所で地元産野菜などを購入できる「あさひもぐもぐマルシェ」の開催

記念イベントの実施やまちなかでの横浜グリーンエクスポ装飾



区で展開される主な局事業

- ・横浜グリーンエクスポ推進事業
- ・上瀬谷地区のまちづくり
- ・ガーデンシティ横浜の推進
- ・公園事業
- ・相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業
- ・拠点駅周辺の整備(鶴ヶ峰駅北口周辺地区)
- ・地域の総合的な移動サービス推進
- ・狭あい道路拡幅整備事業
- ・帷子川の治水対策・環境整備・緑道の整備
- ・持続可能な住宅地推進プロジェクト
- ・市営ひかりが丘住宅住戸改善事業
- ・特別養護老人ホーム整備等事業
- ・学校建替え
- ・コミュニティハウス整備